

Ⅲ. 行政行為の公定力について、その内容および制度的根拠を中心に説明せよ。解答は、茶色の解答用紙（その2）にしるせ。（1000字以内）

2008年度

公法問題用紙

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。（黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。）
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

I. 少年法 61 条は、「家庭裁判所の審判に付された少年又は少年のとき犯した罪により公訴を提起された者については、氏名、年齢、職業、住居、容ぼう等によりその者が当該事件の本人であることを推知することができるような記事又は写真を新聞紙その他の出版物に掲載してはならない」と規定している。Y 出版社は、その発行する週刊誌 A に、少年 X の犯した罪について、実名と写真を含む記事を掲載した。B 市の公立図書館長 Z は、この記事が掲載された週刊誌 A を閲覧禁止とした。この事案における憲法問題について論ぜよ。解答は、紺色の解答用紙（その 1）の表面にしるせ。（1000 字以内）

II. 次の問(1)・(2)のうち、どちらか一つを選択して、その概念について論ぜよ。解答は、紺色の解答用紙（その 1）の裏面にしるせ。また、選択した問題番号を解答用紙の所定欄に明示せよ。（500 字以内）

(1) 違憲審査権

(2) 議院の国政調査権